



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 永史  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員総合企画部長(氏名) 杉山 一彦 (TEL) 048-845-2200  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,773	8.3	△62	-	△75	-	△54	-
28年3月期第1四半期	1,636	△26.0	△55	-	△52	-	△33	-

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △58百万円(-%) 28年3月期第1四半期 △14百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△36.89	-
28年3月期第1四半期	△22.71	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,575	3,502	62.8
28年3月期	5,997	3,672	61.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,502百万円 28年3月期 3,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	75.00	75.00
29年3月期	-	-	-	-	-
29年3月期(予想)	-	0.00	-	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,956	11.8	△16	-	△12	-	△9	-	△6.45
通期	9,035	8.7	388	△29.0	399	△30.5	269	△26.0	182.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 、 除外 一社

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期1Q	1,480,000株	28年3月期	1,480,000株
29年3月期1Q	287株	28年3月期	287株
29年3月期1Q	1,479,713株	28年3月期1Q	1,479,789株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料3ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気の回復基調が続きましたが、英国の欧州連合（EU）離脱問題や中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響により、先行き不透明な状況となりました。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ソフトウェア投資が緩やかに増加するなど回復傾向が続きました。

このような状況のもと、当社グループは新たに策定した17中期経営計画(2015年度～2017年度)の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前期からずれ込んだ案件等により増加し、1,773百万円（前年同四半期と比べ8.3%の増収）となりました。損益につきましては売上原価の上昇及び販管費の増加により、営業損失62百万円（前年同四半期は営業損失55百万円）、経常損失75百万円（前年同四半期は経常損失52百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失54百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

#### ①機器等販売

売上高はメーカー保守及びサプライ商品が増加したため、339百万円（前年同四半期と比べ3.1%増収）となりました。セグメント損益は販売費等の増加により、7百万円の損失（前年同四半期は2百万円の利益）となりました。

#### ②ソフトウェア開発

売上高は前期からずれ込んだ案件があったこと等により増加し、259百万円（前年同四半期と比べ52.6%の増収）となりました。セグメント損益は売上高の増加等により、33百万円の利益（同172.6%の増益）となりました。

#### ③システム販売

売上高は生コンプラント向け操作盤は減少しましたが、画像処理システム販売やインフラサービス等が増加したため、431百万円（同3.6%の増収）となりました。セグメント損益は売上原価の上昇等により、3百万円の利益（同57.5%の減益）となりました。

#### ④システム運用・管理等

売上高は保守・保守関連業務やサービスが増加したため、742百万円（同3.0%の増収）となりました。セグメント損益は売上高の増加及び売上原価の低下により、178百万円の利益（同12.9%の増益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.8%減少し、3,227百万円となりました。これは、主に現金及び預金が349百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が929百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、2,348百万円となりました。これは、主に有形固定資産その他に含まれているリース資産（有形）が74百万円、無形固定資産その他に含まれているリース資産（無形）が25百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、5,575百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.9%減少し、1,624百万円となりました。これは、主に買掛金が310百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて21.0%増加し、448百万円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれているリース債務（固）が70百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.8%減少し、2,073百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、3,502百万円となりました。これは、主に株主配当金の支払が110百万円あったこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失を54百万円計上したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度（平成29年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高9,035百万円、営業利益388百万円、経常利益399百万円、親会社株主に帰属する当期純利益269百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	786,579	1,136,080
受取手形及び売掛金	1,786,866	856,904
リース投資資産	439,537	455,029
商品及び製品	104,203	92,406
仕掛品	333,385	379,373
原材料及び貯蔵品	28,100	31,551
その他	268,866	277,371
貸倒引当金	△1,687	△788
流動資産合計	3,745,851	3,227,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	696,075	685,408
土地	532,744	532,744
その他(純額)	388,524	451,074
有形固定資産合計	1,617,344	1,669,227
無形固定資産	220,369	268,903
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	184,550	186,666
その他	233,649	248,038
貸倒引当金	△4,242	△24,772
投資その他の資産合計	413,956	409,932
固定資産合計	2,251,670	2,348,063
資産合計	5,997,522	5,575,993
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	665,387	354,652
1年内返済予定の長期借入金	3,294	-
未払費用	388,942	565,550
賞与引当金	304,746	144,700
受注損失引当金	8,526	8,526
アフターコスト引当金	36,060	33,148
その他	547,861	518,352
流動負債合計	1,954,818	1,624,931
固定負債	370,182	448,083
負債合計	2,325,000	2,073,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	2,663,259	2,497,696
自己株式	△462	△462
株主資本合計	3,680,618	3,515,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,393	64,530
退職給付に係る調整累計額	△78,490	△76,608
その他の包括利益累計額合計	△8,096	△12,077
純資産合計	3,672,521	3,502,978
負債純資産合計	5,997,522	5,575,993



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,636,977	1,773,081
売上原価	1,312,241	1,423,952
売上総利益	324,736	349,129
販売費及び一般管理費	380,250	411,968
営業損失(△)	△55,514	△62,838
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	2,006	2,268
受取手数料	538	266
受取保険料	286	-
補助金収入	2,565	1,157
その他	567	1,199
営業外収益合計	5,978	4,901
営業外費用		
支払利息	658	401
売上割引	1,453	1,457
貸倒引当金繰入額	-	15,000
その他	831	691
営業外費用合計	2,944	17,550
経常損失(△)	△52,479	△75,487
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△52,481	△75,487
法人税等	△18,873	△20,903
四半期純損失(△)	△33,607	△54,583
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,607	△54,583

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△33,607	△54,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,303	△5,862
退職給付に係る調整額	764	1,882
その他の包括利益合計	19,067	△3,980
四半期包括利益	△14,540	△58,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,540	△58,564
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェ ア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	328,949	170,065	416,491	721,471	1,636,977	—	1,636,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	684	3,883	1,239	5,807	△5,807	—
計	328,949	170,749	420,375	722,711	1,642,785	△5,807	1,636,977
セグメント利益又は損失(△)	2,714	12,339	9,321	158,454	182,828	△238,342	△55,514

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△238,342千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等  
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェ ア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	339,303	259,479	431,323	742,975	1,773,081	—	1,773,081
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	3,063	212	4,019	7,376	△7,376	—
計	339,383	262,542	431,535	746,995	1,780,457	△7,376	1,773,081
セグメント利益又は損失(△)	△7,279	33,638	3,959	178,864	209,183	△272,022	△62,838

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△272,022千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等  
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。